



2013年11月号

— 日ごとの糧を共に —

カトリック麴町 聖イグナチオ教会

《献米だより》
四ッ谷おにぎり仲間
カレーの会
そして
ミニバザー



「カレーの会便り」

カレーの会には、常時、看護師がおり、調理や配膳のかたわら、ゲストやスタッフの要請に応じて、血圧測定や健康相談、調理時の傷の手当てなどを行っています。そして、月に1回、内科の医師が来られ、医療相談が行われています。食事の後、テレジアホールの奥にある部屋を診察室にし、内科の医師が診察をしてくださっています。毎回、2～3人の方が受診されていますが、診察の結果、精密検査や治療が必要な方は、生活相談室へお連れし、医療を受けることができるように支援しています。路上で生活をしている人も、生活保護費から医療扶助を無料で受給できます。

診察時間は、病院の倍以上です。長い間、健康上の不安を抱えて生きてこられた方は、堰を切ったように話しをされます。先生が、親身になって、じっくり聴いてくださることから、体のことだけではなく、生活上のことや、今までのつらい経験なども話され、診察を終えた皆さんは心なしか、元気を取り戻されたように感じます。先生に話しを聴いてもらったことで、不安感が軽くなっただけではなく、誰かとのつながりを得たと感じていただいたからではないでしょうか。本当は、誰でも、自分のことを理解してもらいたい、親身になって聴いてもらいたい、という願望があるのでしょうか。また、人とのつながりや居場所を求めているのです。

人間は、衣食住の環境や、衛生環境、安全などの物質的な環境が整っていることの他に、社会的に孤立していないことや役割があること、活動と休息のバランスがとれること、ストレスを紛らわせる行動がとれること、などに支えられて、人として、やっと生きていくことができるのだと思います。ですから、私は、単に、カレーライスを提供するというだけでなく、ここに集う人々が、お互いに世間話や情報交換をしながら、つながりをもてる場、つかの間ではありますが、安らぐことのできる居場所となることを願ってボランティアを続けています。



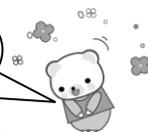
このボランティアも2年が経とうとしていますが、最近は支援させていただくことで、反対に、生きる力をいただいていると実感しています。

聖イグナチオ教会 カレーの会
青柳 葉子

10月の献米報告

お米・・・・・・・・・・140.1kg
お米券・・・・・・・・・・18枚
お米券相当現金・・12,000円
梅干し・・・・・・・・・・10パック&1.2kg
サランラップ・・・・5本

ありがとう
ございました



今後の献米日の予定

11月 30日(土) 午後5時45分~6時(18時のミサの前)
12月 1日(日) 午前8時20分~11時半(8時半、10時のミサの前後)

- 集めているものは、お米券、白米(玄米はご遠慮ください)、梅干し、海苔、ラップです。
- 毎週土曜日、14:00~17:00まで、テレジアホールのパントリー1でも、四ツ谷おにぎり仲間が献米を受け付けております。

おにぎりの会報告

10月の土曜日おにぎり配布個数は、総計569個となりました。ご協力ありがとうございました。

カレーの会報告

10月のカレーの会では、カレーを召し上がった方 812人、シャワー利用者は30人、カットは8人、医療相談は1人でした。今後ご協力宜しくお願いします。

10月度ミニバザーの収益金報告

10月のミニバザー売上げ高は 145,267円でした。皆様のご協力に心より感謝いたします。

次回のミニバザー開催日・・・・11月17日(日) 午前9時~午後2時

場所：主聖堂正面前

開催日は原則として第3日曜日です。雨天の場合は翌週に順延です。宜しくお願い致します。

☆ミニバザーのための献品・・・・毎週日曜日 午前8時半~午後1時半

メリエンダ入口の献品収集ケースに入れてください。

日用雑貨・新品衣料・装身具やインテリア用品・文房具・バッグ
食品(賞味期限内の物)・化粧品・スニーカー

保管場所狭小のため、中古衣類・かさばる品は扱いません。



☆ホームレスの方々への寄贈品・・・・場所・時間はミニバザー献品と同じです。

男物冬用衣料： ポロシャツ・ズボン・セーター・ジャンパー・
靴下・下着・靴・スニーカー・傘・えりまき・帽子・タオル・
髭剃り・袋物・ベルト・ザックなど。

男性用の衣類・雑貨は、中古品も大歓迎です。